

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	行政経営部
部(局)長名	春藤 尚久

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 1	PDCAマネジメントサイクルの確立
--------	-------------------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向	各部長の権限と責任のもと、中長期的な視点に立ち、本市の特性を踏まえた施策の展開を図り、本市の魅力や強みをより引き出せるような事業を計画的に進めつつ、事業の妥当性・有効性・効率性・公平性・持続可能性を検討し、より市民ニーズや市民満足度の高い事業の実施につなげていきます。
---------	--

活動目標
行政評価委員会の委員と行政評価外部評価会議の学識経験者及び有識者との直接の意見交換を可能にするため、行政評価委員会と行政評価外部評価会議を統合します。
各部長の権限と責任のもと、中長期的な視点に立った施策の検討を行い、市の魅力や強みをより引き出す事業計画の策定を行います。

具体的な取組実績
行政評価委員会を6回開催し、そのうち4回、5施策49事業について学識経験者及び有識者に参加いただき、行政評価委員会を開催しました。
適正な行財政運営に努めながら市の魅力や強みをより引き出すため、政策課題mission24を策定し、「福祉と医療」「教育、文化、スポーツ」「高質で安全なまちづくり」「市民力、地域力とともに」「政策の実現力を高める」の5つの指針を示しました。

達成目標
専門的な見地からの意見や助言を踏まえた2次評価を実施します。
市民ニーズや市民満足度の高い実施計画を策定します。

達成状況	達成度
学識経験者及び有識者の参加のもと、行政評価委員会を行うことにより、専門的な見地からの意見や助言をいただくことで、行政内部だけで行う評価よりも多角的に事業を検証し、評価を行いました。	A 達成
財政の硬直化を招かないよう赤字地方債の発行をせず持続可能な行財政運営を図りながら、政策課題mission24に取り組み、吹田ブランドをさらに強化する実施計画の策定を行いました。	A 達成

総合評価・総括

行政評価については、学識経験者や有識者の外部の意見や助言を直接お聴きしながら、より多角的に検証しながら評価することができました。今後は、より透明性、客観性を高めるため市民参加を検討します。

実施計画については、引き続き財政の硬直化を招かないよう可能な限り赤字地方債の発行をせず、「柔軟な財政構造」の確立を図り、持続可能な行財政運営に努めながら、政策課題mission24に取り組みます。